導入 編

はじめに

「電子記録債権Webご利用マニュアル」は、《電子記録債権取引システム》が提供するサービスを利用する企業ユーザ向けの操作方法についてご説明いたしております。

この「電子記録債権Webご利用マニュアル」にそってご利用いただきますようお願い申し上げます。

なお、本書は画面変更に伴い記載内容を改訂する場合があることをご了承ください。 (付録に記載の《法人IB》に関する部分も含む)

マニュアルの読み方

▶ 本マニュアルで扱う記号は、以下のとおりです。

項目	表記	説明
ボタン・タブ・ チェックボックス	000	画面上のボタン・タブ・チェックボックスを表します。
入力項目	①OOO ②AAA :	画面上の入力項目を表します。 番号は画面上に表記している番号と紐づけて記載しています。
参照	L1	『』内は参照先の取引名や機能名を記載しています。
条件	[]	【】内は条件を表します。

▶ 本マニュアルで扱う手順は、以下のとおりです。

表記内容	表記例
操作手順を記載します。	
補足説明を記載します。	
操作手順の完了を示します。	
『共通機能』に記載しているボタンを示します。※1	(2223)
操作手順を進めるボタンを示します。	
項目のエリアを示します。	
次の手順を示します。	
操作の完了を示します。	
詳細ボタンを押下し債権内容を別ウィンドウで 表示することを示します。	([[]])
別ウィンドウに移動することを示します。	
ポップアップされる画面を示します。	
業務及び操作のヒントとなる情報を示します。	

①ご注意事項

※1:『共通機能』に記載しているボタンの中で(「表示ボタン」「選択/解除ボタン」「戻るボタン」 「トップへ戻るボタン」「一覧へ戻るボタン」「閉じるボタン」「ページリンクボタン」)については、本文中 の青点線表記を省略しています。

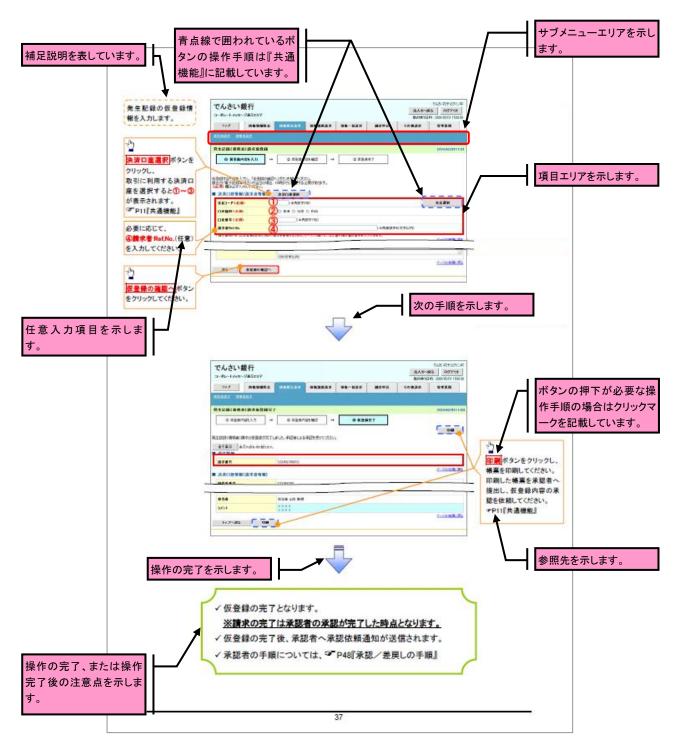
▶ 本マニュアルで扱うマークは、以下のとおりです。

項目	表記	表記例
ヒントマーク	`@ -	業務及び操作のヒントとなる情報
注意マーク	①	業務及び操作の注意事項
クリックマーク	√ <u>m</u>	ボタン押下の動作が必要な場合に記載します。
参照マーク		他取引・他機能を参照する場合に記載します。

▶説明部分の記載例

本マニュアルの記載例の説明を以下に示します。

なお、本マニュアル内では帳票の受渡しによる運用を想定した記載としておりますが、メール通知等による帳票 印刷を行わない運用も可能です。



(i)ご注意事項

利用申込時のオプションにより、利用可能な取引や表示項目が異なります。

▶入力項目が 10 以上ある画面の記載方法

入力項目一覧表は画面上に入力項目が 10 以上ある場合に一覧形式で記載しています。

入力項目が 10 未満の画面については操作手順を記載している吹き出しへ属性などを記載しております。

